

馬電菱の実会だより (№. 58)

三菱電機群馬ボランティア会にご入会を

4月から活動の予定（参加者を募集）

三菱電機群馬製作所では4月より、ボランティア活動を自主的に行おうとする、当社および構内関連会社に勤務するすべての個人ならびに当社退職者（いずれも家族を含む）によって「三菱電機群馬ボランティア会」が結成されることになりました。

ボランティアとは=

自発的に、自由意志で活動すること、活動する人という意味です。ボランティア活動は、社会をよくしたり、自分自身が心豊かになり、生きがいとして行うものです。

「三菱電機群馬ボランティア会」でも、個人と企業のボランティア活動を自主的かつ組織的に行い、地域社会の健全な発展と個人の成長をめざすもので、本会に入会する者は年額1,000円を会費として払っていただくことになります（なお会社も同額を拠出します）。

活動の内容をはじめ募集方法など、くわしいことは今月中に決りますので、また来月号でお知らせします。その節は会員の皆さんも加入のほどよろしくお願い申し上げます。



◆ おしらせ (1) ◆

久しぶりの 家族マス釣り大会 です

菱馬会釣り部主催の「家族マス釣り大会」が次のように行われます。ぜひご参加下さい。申し込みは3月16日(月)までに事務局へ。

- 会場 大崎釣り堀所（勢多郡宮城村柏倉 ☎ 0272-83-4325）
- 日時 平成9年3月29日(日) 午前9時30分までに現地集合
- 会費 1家族 2,000円
- その他 ①釣ったマスはその場（食堂）で焼いて食べられます。
②参加申込者には会場地図をはじめ、詳しいことを連絡いたします。

新会員紹介

和田 光夫さん (平成10年1月20日定年)

住所 新田町中江田 171-1 ☎ 0276-56-2907

昭和34年10月、当時の菱電機器尾島工場に入社し、工作部表面処理関係に配属され、メッキ酸洗い作業を行っていました。その後、工程に移り、工数計算、部品管理、完成品を台車にて各工場への搬入作業をしていましたが、時の流れとともにメッキ工場は閉鎖され、二工場に移り、部品管理等の仕事をしていました。

また4年間、三菱電機北関東支社に昇降機関係で、特に埼玉北部、群馬地区を重点に活動をしていましたが、3年前から群馬テクニカに移り、二工場の物流担当にあたっていました。

退職にあたり、39年間皆様のご指導とご協力を深く感謝し、お礼申し上げます。
今回「菱の実会」に入会させていただき、今後ともよろしくお願ひいたします。



小此木 光二さん (平成10年1月20日定年)

住所 新田町木崎 112-5 ☎ 0276-56-0512

昭和34年10月入社。菱電機器時代、工程管理、電熱器組立(サーモスタッフ)。群馬製作所時代、電熱器組立、MELCOM80(電子機器組立)、安全衛生管理を担当。昭和62年、初めて出向を命ぜられ、サンレイ工業にて工作ラインを担当。3年間の予定が9ヶ月で呼び戻され、本社ビル施設工事部安全課へ転勤を命ぜられ、単身赴任を経験する。

平成4年4月に菱電不動産㈱群馬営業所に出向。平成10年1月20日に定年退職を迎えることができました。



多種・多様なことを経験し、諸先輩をはじめとする数多くの皆さんに支えられながら、サラリーマン生活を健康で卒業できましたことは、公私にわたる皆さんのご指導の賜と厚くお礼申し上げます。

39年間で経験した苦しいこと、悲しいこと、うれしいことを楽しい思い出の宝として第二の人生へスタートします。

このたび「菱の実会」に入会させていただきますが、旧に倍するご指導のほどお願い申し上げます。

森 正実さん (75歳)ご逝去のお知らせ

昭和46年2月、馬電総務部長として着任し(その後副所長兼総務部長)、昭和52年2月、転籍された森 正実さんは1月29日(木)心不全で急逝されました。

なお2月2日(月)の葬儀には、会から弔電および花輪を供え、ご冥福を祈りました。

会員投稿

走馬燈(2)

桐生市 穴原保二

◎はじめに(2)

敗戦により世の中が「ひっくり返り」今まで使った教科書は、先生の読み上げるページを墨で消し込むため、役に立たない教科書になってしまった。新しい教科書もなく、新聞紙の大きさに印刷された数学等の教科書が4人に1枚配給になる。それを折ってハサミで切り使うのだ。人により持っている教科書が違うのである。これで勉強ができるわけがない。音楽の時間は先生が赤旗の歌を教える（聞け万国の労働者、である）。

この頃から私は学校へはあまり行かず「闇屋」の商売をしていた。東京へタバコや味噌を売りに行くのだ。電車に乗って行くのだが、途中で警察の検問にあうと全部巻き上げられる（食べられるものは売買禁止であった）。この他塩の買い出し、落花生、さつまいも、米、魚、タバコの葉、なんでも「買い出し」に行った。また売りにも行った。ヒロポン、拳銃、野球のバット、織物、干し柿、ノリ、魚。商売になる物はなんでも売買したこの時期が、私にとって一番変化があり、波乱万丈の毎日だった。

このような体験で今日の私があると思っている。

書くにあたり、様々なことが次々と浮かぶようになり「自分史」の題名を「走馬燈」とし書き始めたものを、今回は笑われるのを承知で一部分だけ投稿させていただきました。

◎空襲警報(1)

毎日毎日、米軍機による本土空襲が続き、学校に行くのも嫌になっていたある日の話（現代の登校拒否と似てる）。

今日もまた8時半頃、登校途中で空襲警報のサイレンがけたたましく鳴り出した。なぜか近頃、時々考えていた米軍による生品飛行場の爆撃が、この日はあるような気がした。約5キロの道程を学校に行かず、仲間3人を引き連れ、茶臼山へと急いだ。山に辿り着いて飛行場の見える松の木を探し、よじ登って待つこと1時間ほどすると、西の空赤城山方面にトンボのように小さいグラマン機が、まるで秋の空に雁が飛んで行くようにカギの手となり、1編隊5機で3編隊飛んでいるのが見えた。

不思議とこの時はキレイだなあと想い、米軍であることを忘れていた。ボヤとしてふと飛行場の方へ目を落とすと、日本兵が慌ただしく走って駐機してある戦闘機の方へ行くのが見えた。1機また1機と飛び立って行こうと、滑走路の方へ行くのが手に取るように見える。いよいよ空中戦になると思い、ワクワクするやら、怖くて身体が震えるやら、胸がドキドキし鳥肌が立ってきた。

2、3機飛び立った頃、西の空からグラマンの腹が銀色にキラリと光り、一気に飛行場を目がけて、ワシが空から獲物を狙う如く落ちて来るのが見えた（なにかわれわれ悪鬼どもを攻撃して来るよう見えた）。松の木にしがみついて見ていると、すぐ頭の上をグラマンが横切って行く。見ると飛行機の中に2人乗って、こちらに手を振っているようにすら見えた。（つづく）

新会員紹介企画六 市主隊◆おしらせ(2)◆

1. 第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会

上記大会を次のように開きます。今月は大会ですから申し込みが必要です。

- 日 時 2月23日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- 会 費 500円(当日徴収) ●申 込 3月18日(水)までに事務局へ
- その他 ①賞品あり ②小雨決行、雨天順延

2. 3月のカラオケ月例会

- 日 時 3月2日(月) 午後5時より ●会 場 瞳荘 YO U遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: 0276-31-7894)まで

3. 3月の「囲碁」入門講座

- 講座日 3月9日(月)・16日(月) 午前10時~11時30分
- 会 場 体育館 余暇開発室

事務局から 役員新年会を開催

1月21日(水)・22日(木)に、鬼怒川温泉「万葉亭」にて役員等の新年会を行いました。

当初、それぞれの自家用車に分乗していく計画でしたが、もし雪でも降ると車どうしの連絡が取りにくいし、事故でも起こしては困ります。そこで旅館からのマイクロバス(送迎は20名以上)に変更しようということになり、カラオケやグラウンドゴルフの愛好会メンバーにも声をかけて、参加者17名で実施しました。

結果は…。今年は新年早々から大雪となり、車の変更はバッタリ当り!

参加して下さった皆さんご苦労さまでした。

編集後記 ● 平成10年を迎え、あちこち新年会等に顔を出しているうちに、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。

● 今年こそはと思いながら、あまり実行が伴わるのは凡人の常で、毎年のことですが、すこしでも前進をしたいと願うのも人のサダメでしょうか。

● 「継続していることを充実させる」「新しいことに挑戦する」今年もまた、それぞれの課題に、元気でチャレンジいたしましょう。

(伊沢)